TOTO

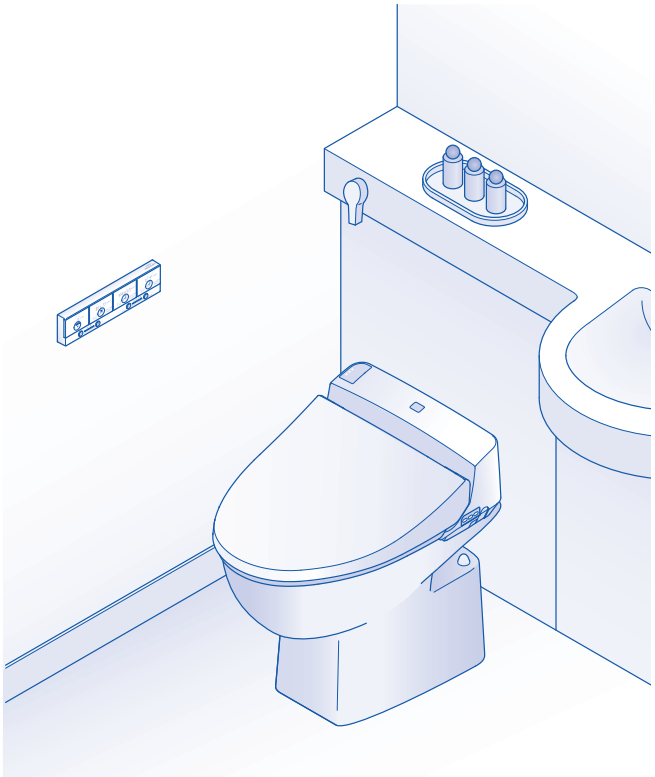
施工説明書

ウォシュレット®HX
ホテル用洗浄（脱臭）暖房便座
TCF 5010・TCF 5011
TCF 5000・TCF 5001

WASHLET®

工事店様へ

- 施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- **電気配線工事は必ず資格を持った電気工事士が行ってください。**
- **ウォシュレット本体とリモコンは同梱以外のものを取り付けないでください。（ID設定されていますので、同梱以外のものを取り付けると作動しません。）**
- 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、ホテル側にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてホテル側に説明してください。
- 使用方法ラベルについては、ホテル側に十分な確認を行い、指示された場所に正しく貼り付けてください。
- 施工後は、ウォシュレット本体の掃除およびユニットバスルーム内の掃除を行ってください。
  ウォシュレット本体の掃除は傷が付かないように、ほこりを払った後、かたくしぼったやわらかい布でふいてください。



はじめに

はじめに	2
安全に関するご注意	2
取り付け前のご注意	2
同梱部品	4
各部のなまえ	4
電源ボックス・カウンターエプロン穴あけ位置	5
設置完成図	7

取り付けかた

1 電源ボックス取付位置への穴あけ	10
2 カウンターエプロンの穴あけ	10
3 分岐金具の接続	10
4 UBカウンターとの取り合い確認	11
5 便器への取り付け	11
6 電源ボックスの取り付け	13
7 電源コードの処理	16
8 連結管の接続	16
9 ブッシュの取り付け	18
10 リモコンの取り付け	18

試運転他

試運転	20
フィルターの掃除	21
ID設定	23

このQRコードは
メーカー管理用です。

2013.9.17
D08271S

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

はじめに

●必ず同梱のベースプレートを使用してください。旧型のベースプレートでは、ウォシュレットの取り付けができません。
●便ふたがキャビネットなどに当たる場合は、当たり音軽減のため同梱のクッションを貼り付けてください。

安全に関するご注意　安全上の警告・注意事項を必ず守ってください！

⚠ 警告　誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意　誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される」内容です。

【絵表示の例】　🛇 してはいけない「禁止」の内容です。　❗ 必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 警　告	
禁止	指定する電源（交流100V）以外では使用しない （火災や感電の原因になります。）
	水道水および飲用可能な井戸水（地下水）以外は使用しない （皮膚の炎症などを起こす原因になります。）
	微弱な信号を取り扱う電子機器・医療機器を近くで使用しない （誤作動などの影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。当該の医療機器メーカーおよび販売業者に電波による影響について確認してください。）
	電源コード（VCTF）をステープルなどで固定しない （被覆をいため火災や感電の原因になります。）
	車輌・船舶など、移動体への設置はしない ●火災や感電、故障の原因になります。 ●ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。
必ず守る	電源は高速・高感度形の漏電遮断機で保護された回路に接続する （火災や感電の原因になります。）
	電源線を端子台に差し込むときは根元まで確実に差し込む （火災の原因になります。）

⚠ 警　告	
必ず守る	VVFケーブル3芯φ1.6またはφ2.0銅単線を使用する （これ以外の電線を使うと火災の原因になります。）
	電気工事は「電気設備技術基準」や「内線規定」に従って確実に行う （従わないと火災や感電の原因になります。）
アース接続	アース（D種接地）を確実に取り付ける （アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。）
⚠ 注　意	
禁止	便座・便ふたを持って製品を持ち上げない （本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。）
	連結管をつぶさない （水漏れの原因になります。）
必ず守る	止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない （水が噴き出します。）
	施工は施工説明書に従って確実に行う （正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。）
	給水フィルターを取り付けるときは確実に締める （確実に締めないと水漏れの原因になります。）

取り付け前のご注意

1.製品への通電および通水は、取付作業をすべて終えてから行ってください。

2.便器に取り付ける前に、ウォシュレット本体にベースプレートをセットして通電しないでください。温水タンクが空の状態でヒータが入るため、故障の原因となります。

3.電源は、交流100V（50/60Hz）、定格消費電力はTCF5000・TCF5001:150W、TCF5010・TCF5011:152Wです。この電力に適した配線をしているか確認してください。

4.給水圧力範囲は0.05MPa（流動時）～0.75MPa（静水圧）です。この圧力範囲でご使用ください。

5.給水温度は0～35℃です。この温度範囲でご使用ください。

6.便器の後ろにカウンターがないタイプのユニットバスで、便器洗浄に再生水を使用する場合は、別途ウォシュレット用に水道水および飲用可能な井戸水（地下水）を給水する必要があります。

7.混合栓が浴室と洗面器を兼用する（1水栓）の場合、浴槽側と洗面器側に別々の混合栓を取り付けるか、またはウォシュレット専用の配管を別に設けてください。

8.ユニットバスのタイプによっては、取り付けの際に別途手配が必要となる部品があります。
☞ 別途手配の必要な部品 で確認の上、手配してください。

9.電源ボックス内のVVFケーブル（電源ケーブル）接続用端子台（コネクタ）にVVFケーブル（電源ケーブル）を1度差込むと抜けませんので十分注意して接続してください。

10.電源ボックスの取付位置は、当社の標準ユニットバスに設置する場合は、壁下端から200mmまたは250mmが標準高さとなります。
（☞5ページ 電源ボックス・カウンターエプロン穴あけ位置 をご覧ください。）
当社特殊ユニットバスや他社のユニットバスに設置する場合は、ユニットバス床面から150mm以上の高さで壁裏に配管などがない位置に取り付けてください。また、意匠につきましてもホテル側に十分な確認を行い、指示された場所に正しく取り付けてください。

11.ウォシュレット本体とリモコンは同梱されているペアで取り付けてください。
（ID設定されていますので、同梱以外のものを取り付けると作動しません。）
※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

ユニットバス対応ウォシュレットHX

UBタイプ ＼ ウォシュレット			ウォシュレットHX本体 エロンゲートサイズ TCF5001/TCF5011	ウォシュレットHX本体 レギュラーサイズ TCF5000/TCF5010
便器の後ろにカウンターがない場合		EQG/V 1624 1620	○	―
便器の後ろにカウンターがある場合	ハーフパネル式	EKV 1216 1116 1115	―	○
	フルパネル式	ERG/V 1620	○	―
		ERG/V 1418 1218	―	○
		ERV 1216 1116	―	○

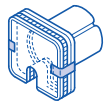
別途手配の必要な部品

壁	タイル壁		HQパネル（クリスタル）		備　考
UBタイプ ＼ 部　品	EQG 1624G 1620G	EQG 1624G 1620G 以外のタイプ	EQV 1624G 1620G	EQV 1624G 1620G 以外のタイプ	
VVFケーブル（電源ケーブル）	○	○	○	○	電源ボックス接続用（φ1.6またはφ2.0単線）
止水栓（品番TS 406F2V3）	○※	―	○※	―	EQG/V1624G・1620G タイプのUBにのみ必要
アンカープラグ	○ モール用：3～5本	―	―	―	タイル壁面へのモールの固定に必要
モール（電源コードを通せるサイズのもの）	○	―	○	―	電源コードの取りまわしに必要
モール固定ねじ	○ 3～5本	―	○ 3～5本	―	
シリコンシーラント	○	○	○	○	電源ボックスなどのシール材として必要

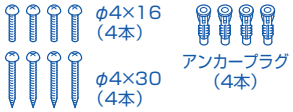
※既設ユニットバスの場合も専用止水栓（TS406F2V3）以外が取り付いている際は、専用止水栓への取り替えが必要です。

同梱部品

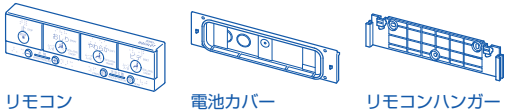
電源ボックス



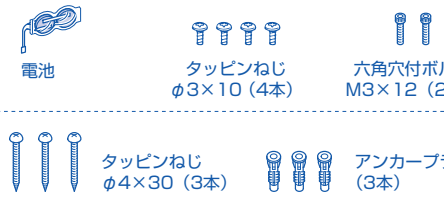
電源ボックス固定用ねじ



リモコン部品



リモコン　電池カバー　リモコンハンガー



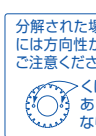
電池　タッピンねじ φ3×10（4本）　六角穴付ボルト M3×12（2本）

タッピンねじ φ4×30（3本）　アンカープラグ（3本）

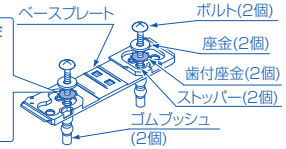
ベースプレート部品

※分解せずにこのままで便器に取り付けてください。

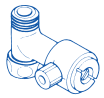
分解された場合、歯付座金には方向性があります。ご注意ください。



くぼみ(2個)のある面が下になります。



分岐金具



給水アダプタ

クッション

（1個）

取付説明書付

ブッシュ

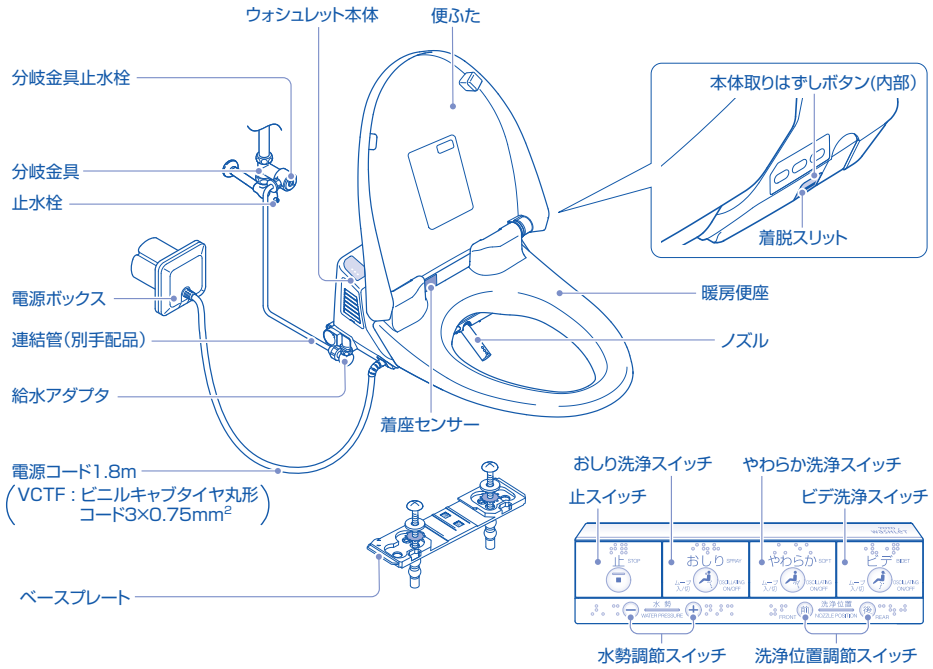
（2個）

印刷物

使用方法ラベル
取扱説明書
（保証書付）
施工説明書
（本書）

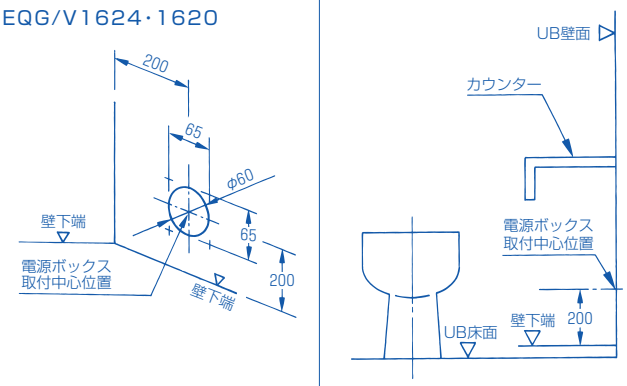
連結管（別手配品）

各部のなまえ

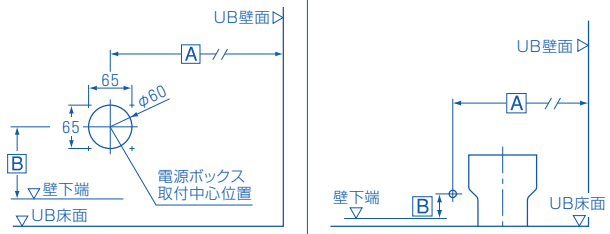


電源ボックス・カウンターエプロン穴あけ位置

電源ボックス標準取付穴位置

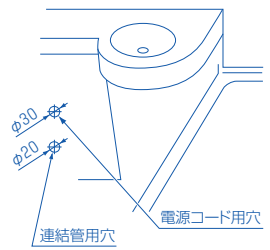
UBタイプ ＼ UBの勝手	Rタイプ	Lタイプ
EQG/V1624・1620		

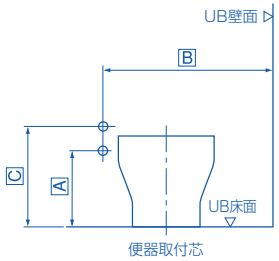
UBタイプ ＼ UBの勝手 ＼ 寸法	Rタイプ A	Rタイプ B	Lタイプ A	Lタイプ B
ERG/V1620	1150	250	1150	250
ERG/V1418・1218	920	250	920	250
ERV1216・1116 EKV1216・1116・1115	400	130	400	130

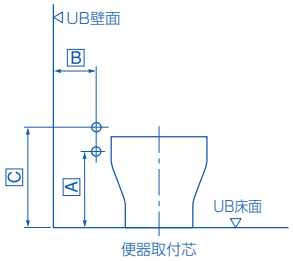


カウンターエプロン標準穴あけ位置

UBの勝手 / 寸法 / UBタイプ	Rタイプ 連結管用 A	Rタイプ 連結管用 B	Rタイプ 電源コード用 C	Rタイプ 電源コード用 B	Lタイプ 連結管用 A	Lタイプ 連結管用 B	Lタイプ 電源コード用 C	Lタイプ 電源コード用 B
ERG/V1620	100	545	150	545	100	255	150	255
ERG/V1418・1218	100	495	150	495	100	205	150	205
ERV1216・1116 EKV1216・1116・1115	100	460	150	460	100	140	150	140





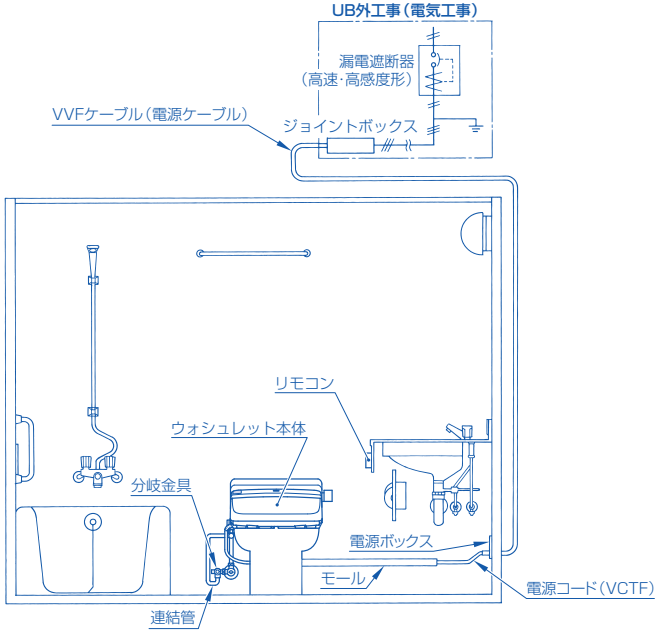


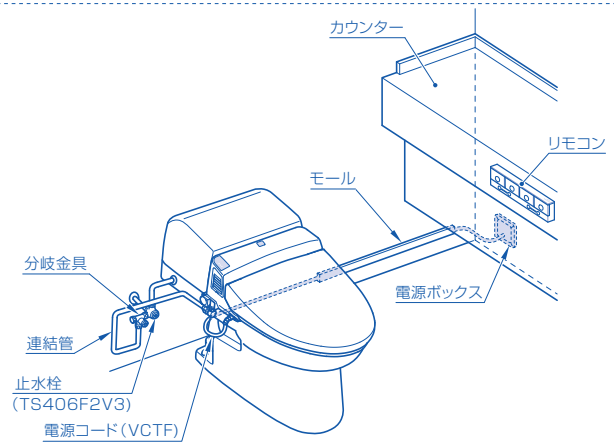
設置完成図

便器の後ろにカウンターがない場合

EQG/V 1624・1620タイプの施工例

- 図はユニットバスRタイプにウォシュレット本体をセットした場合を示します。（ユニットバスLタイプの場合は本図の逆の配置になります。）
- 図は便器洗浄に水道水および飲用可能な井戸水（地下水）を使用する場合を示します。便器洗浄に再生水を使用する場合は、ウォシュレット用に別途水道水および飲用可能な井戸水（地下水）を給水する必要があります。
- 電源ボックスは、短辺側の壁のカウンター下に取り付けます。
- 電源は高速・高感度形の漏電遮断器で保護された回路に接続してください。
- 止水栓は品番:TS406F2V3を別途手配してください。

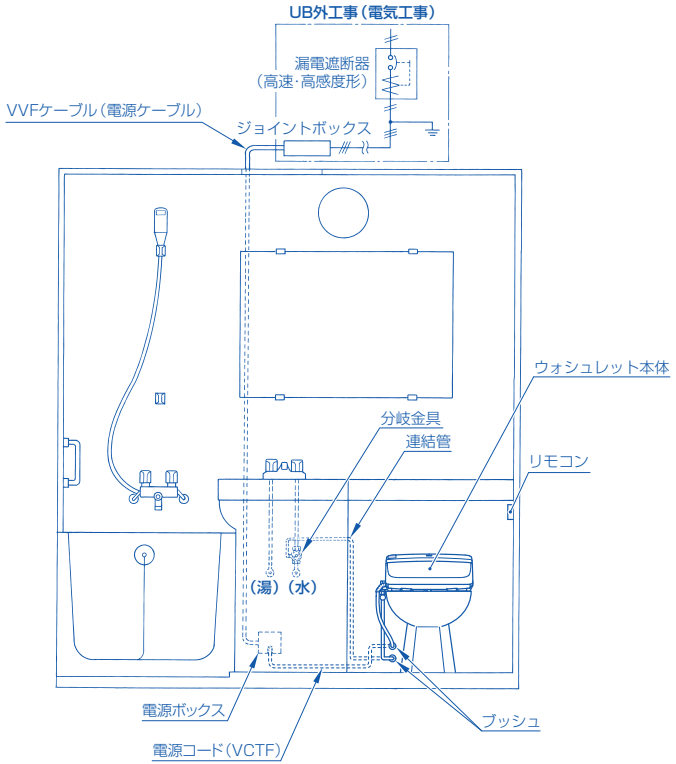




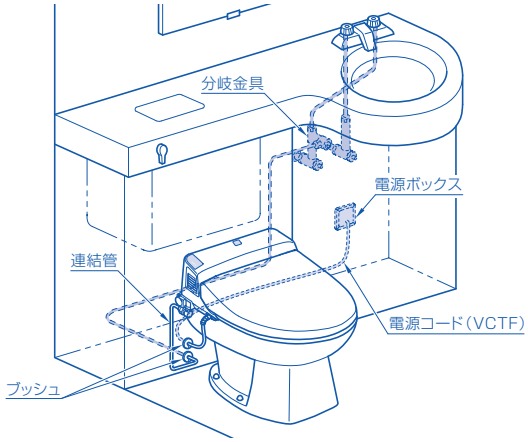
便器の後ろにカウンターがある場合

フルパネルタイプ（ERG/V 1620、ERG/V 1418・1218、ERV 1216・1116）の施工例

●図はユニットバスRタイプにウォシュレット本体をセットした場合を示します。
（ユニットバスLタイプの場合は本図の逆の配置になります。）
●電源は高速・高感度形の漏電遮断器で保護された回路に接続してください。



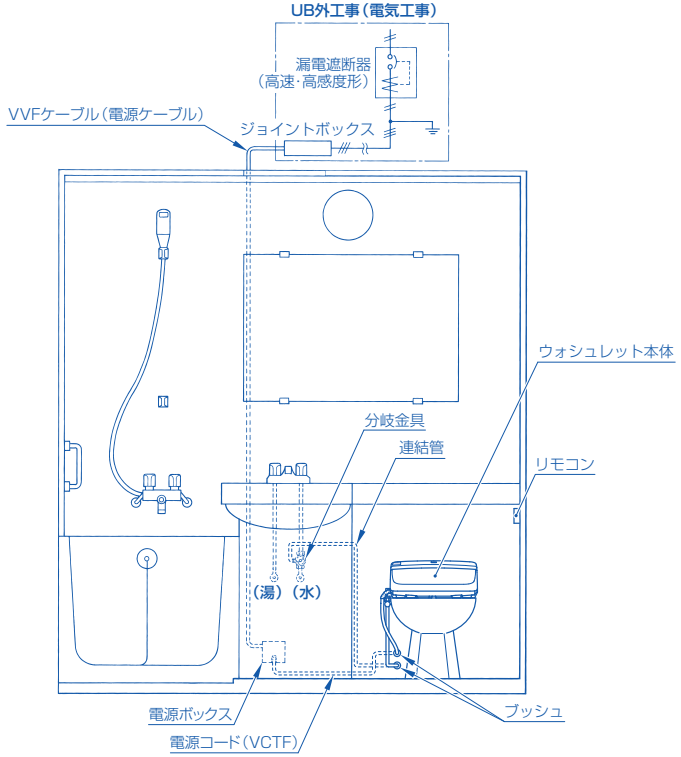
●図はユニットバスLタイプにウォシュレット本体をセットした場合を示します。



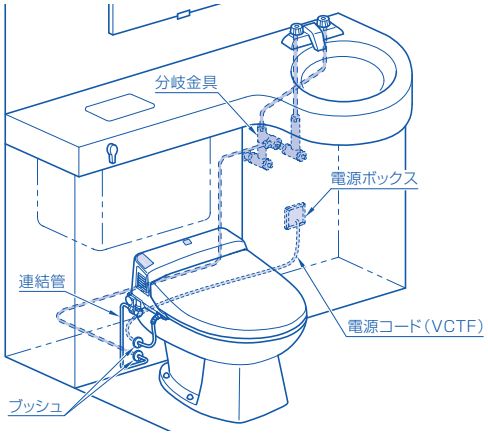
便器の後ろにカウンターがある場合

ハーフパネルタイプ（EKV 1216・1116・1115）の施工例

●図はユニットバスRタイプにウォシュレット本体をセットした場合を示します。
（ユニットバスLタイプの場合は本図の逆の配置になります。）
●電源は高速・高感度形の漏電遮断器で保護された回路に接続してください。
●混合栓が浴室と洗面器を兼用する（1水栓）タイプのユニットバスルームは浴槽側と洗面器側に別々の混合栓を取り付けるか、またはウォシュレット専用の配管を別に設けてください。



●図はユニットバスLタイプにウォシュレット本体をセットした場合を示します。



1 電源ボックス取付位置への穴あけ 共通 既設現場のみ

※電源ボックス取付位置については、壁裏配管や補強材の位置、意匠などの確認が必要なためあらかじめ現場と調整しておいてください。

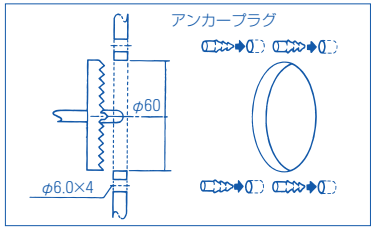
1 取付穴位置をけがく

☞ 5ページ 電源ボックス・カウンターエプロン穴あけ位置 参照

2 電源ボックス取付穴をあける

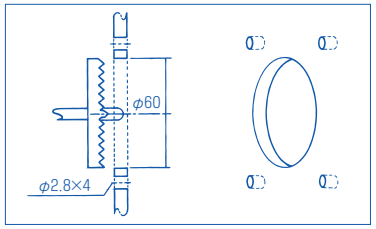
タイル壁の場合

ホルソー：電源ボックス取付径φ60 ・・・・・・・・・1カ所
ドリル　：電源ボックス固定用ねじ下穴φ6.0 ・・4カ所
アンカープラグ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4個
※アンカープラグの取り付けは、新設現場の場合も同様となります。
※φ60の穴をあけるホルソーを準備してください。



ハイクオリティパネル・塩ビ銅板壁の場合

ホルソー：電源ボックス取付径φ60 ・・・・・・・・・1カ所
ドリル　：電源ボックス固定用ねじ下穴φ2.8 ・・4カ所
※穴をあけた後、切屑が残らないように掃除してください。



2 カウンターエプロンの穴あけ フルパネルタイプ ハーフパネルタイプのみ 既設現場のみ

1 穴あけ位置をけがく

☞ 6ページ 電源ボックス・カウンターエプロン穴あけ位置 参照

2 カウンターエプロンに連結管用と電源コード用の穴をあける

※穴をあけた後、切屑が残らないように掃除してください。

3 分岐金具の接続 新設現場・既設現場共通

※分岐金具の接続は確実に行ってください。

EQG/V 1624・1620 タイプ

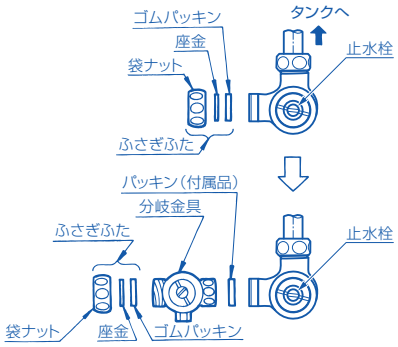
※タンク止水栓はTS406F2V3（別途手配）を使用してください。
※TS406F2V3以外の止水栓がついている既設現場では、止水栓を取り替えてください。

1 タンクの止水栓を⊖ドライバーで閉める

2 止水栓のふさぎふたを取りはずす

3 分岐金具を止水栓に取り付け、ふさぎふたを取り付ける

※分岐金具止水栓は右図のように前側に向いた状態で取り付けてください。



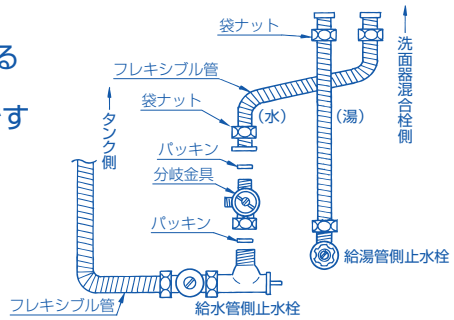
フルパネルタイプ・ハーフパネルタイプ

1 給水管側止水栓を⊖ドライバーで閉める

2 給水管側の袋ナットをスパナで取りはずす

3 分岐金具を右図のように取り付ける

※分岐金具は必ず水側止水栓に接続してください。
※分岐金具止水栓は右図のように前側に向いた状態で取り付けてください。
※既設の現場では、分岐金具に付属のパッキンと取り替えてください。



4 UBカウンターとの取り合い確認 フルパネルタイプ ハーフパネルタイプのみ

● ウォシュレット本体を便器に取り付ける前にUBカウンターとの取り合いを確認する

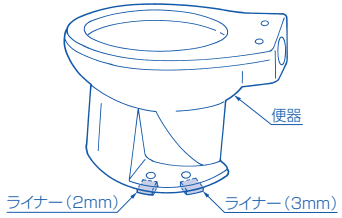
確認

①ウォシュレット本体がUBカウンターに当たり、取り付けできないことはないか
②便ふたを開けたとき、便ふたがカウンターのコーナー部分に当たり、完全に開かないことはないか

※上記のいずれかの状況がある場合は、床と便器のあいだに右図のようにライナーをはさんで、便ふたがカウンターに当たらないように調整してください。
お求めはTOTOメンテナンス（株）TOTOパーツセンター
TEL 0120-8282-55
FAX 0120-8272-99 へご連絡ください。

ライナー（mm）	品番	希望小売価格
20×30×2（1個）	EKK733	￥700（税抜）
20×30×3（1個）		

※品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。



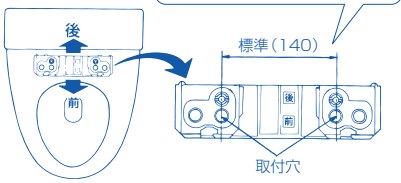
※ユニットバスLタイプの場合を示します。
（ユニットバスRタイプの場合は逆になります。）

5 便器への取り付け 共通 新設現場・既設現場共通

注意 すでにベースプレートが付いている製品と取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
※旧型のベースプレートではウォシュレットが取り付けできません。

1 ベースプレートの取付方向を確認する

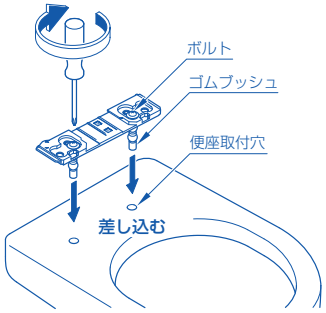
前 後 と表示している方が表側です。
前 と表示している方を、便器の先端側に向けます。



取り付けかた

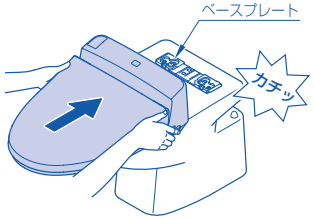
❷【仮締め】
ゴムブッシュを便座取付穴に差し込み、ベースプレートが動かなくなるまでボルトを締める

●ゴムブッシュの表面を水でぬらしておくと差し込みやすくなります。



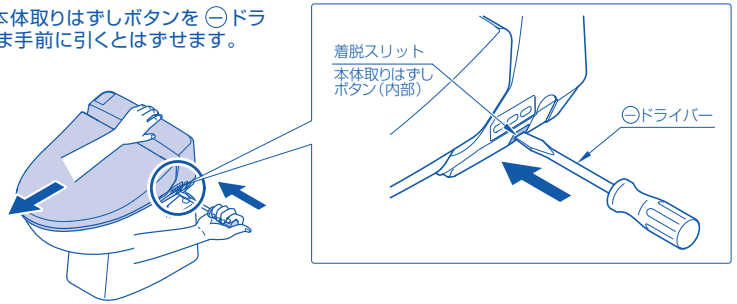
❸ ウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込む

●ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心が合うようにして、本体を押し込むと位置が合わせやすくなります。



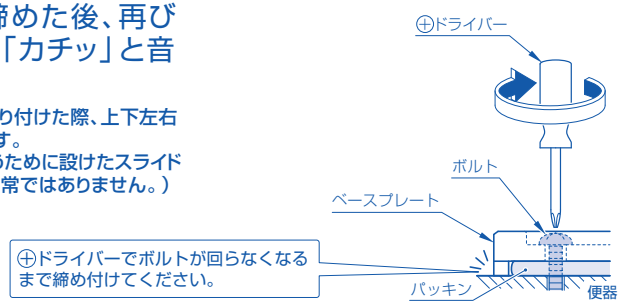
❹ ウォシュレット本体がまっすぐに取り付くことを確認し、いったんウォシュレット本体を取りはずす

●着脱スリット内の本体取りはずしボタンを ⊖ドライバーで押したまま手前に引くとはずせます。



❺【本締め】
ボルトをしっかりと締めた後、再びウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまで押し込む

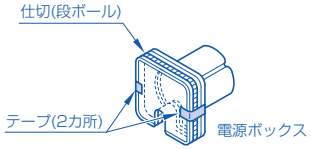
※ウォシュレット本体を便器に取り付けた際、上下左右に若干のガタツキが発生します。
（これは、ワンタッチ着脱を行うために設けたスライド部のすき間によるもので、異常ではありません。）



6 電源ボックスの取り付け 共通 新設現場・既設現場共通

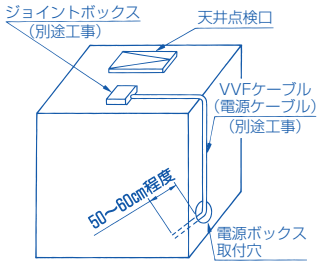
❶ 電源ボックスのテープや仕切を取りはずす

①電源ボックスのテープ（2カ所）を取りはずす
②仕切（段ボール）を取りはずす
③カバー、ふた（端子台付）、ボックス本体に分ける
※テープの跡が残らないようきれいにはがしてください。

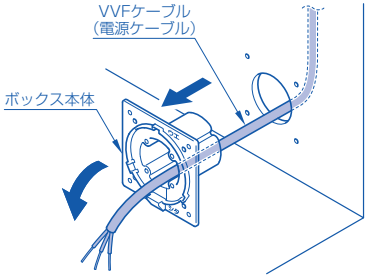


❷ 天井裏のジョイントボックス近くからUB壁裏配管をして電源ボックス取付穴にVVFケーブル（電源ケーブル）を通す

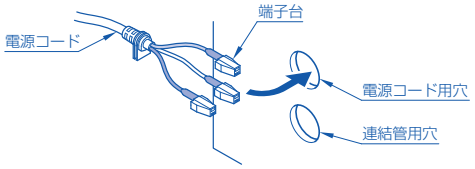
※電源ボックス取付穴から出す線の長さに余裕を持たせてください。（50～80cm程度）



❸ VVFケーブル（電源ケーブル）をボックス本体へ通す

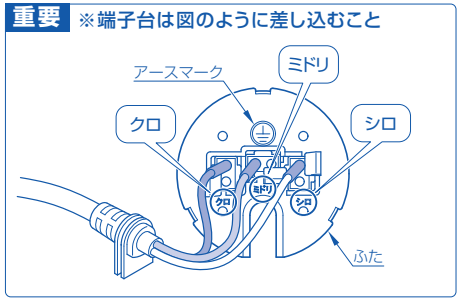


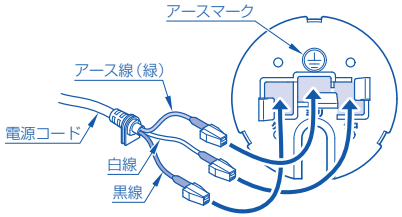
❹ 電源コードをエプロンの穴に通す
（フルパネルタイプ・ハーフパネルタイプのみ）



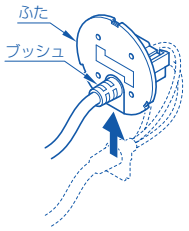
❺ 電源コードの端子台（黒線・白線・アース線）をふたの「クロ」「シロ」「ミドリ」表示に差し込む

重要 ※端子台は図のように差し込むこと





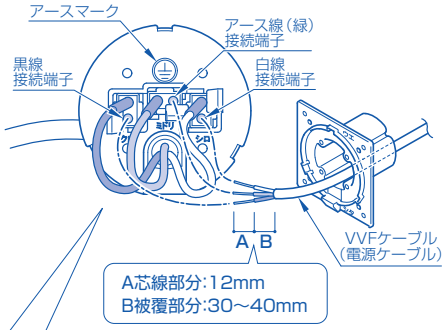
❻ ブッシュをふたに差し込む



❼ VVFケーブル（電源ケーブル）を端子台に差し込む

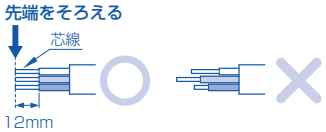
※VVFケーブル（電源ケーブル）は、芯線部分を12mm、被覆部分を30～40mm確保してください。
※アース線は、必ずアースマークの付いた端子台に差し込んでください。
※芯線が完全に端子台に入り込み、抜けないことを確認してください。

⚠警告 端子台の方向を確認してVVFケーブルを差し込むこと
・火災の原因になります。



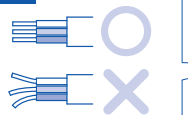
重要 電源端子への接続

①電源コードの芯線3本が均一になるように加工する
・端子台の手前で均一になるように加工してください。



②端子台に芯線を奥までまっすぐ挿入する
・端子台の近くで大きく曲げると先端が十分に差し込まれないことがあります。

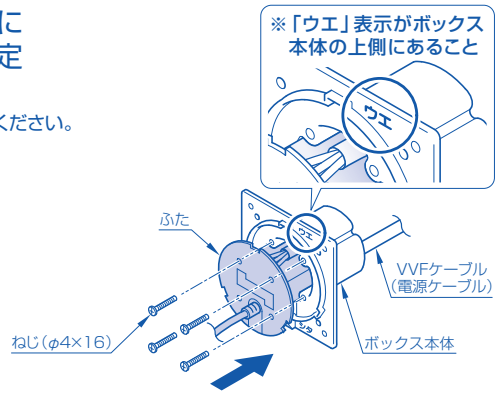
注意



先端が曲がっていないことを確認する

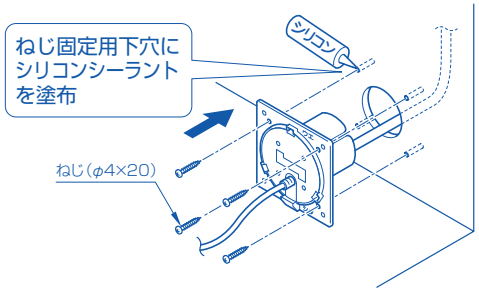
❽ ボックス本体の「ウエ」表示が上側にあることを確認し、ふたをねじで固定する

●内部に水が侵入しないように最後まで締め付けてください。



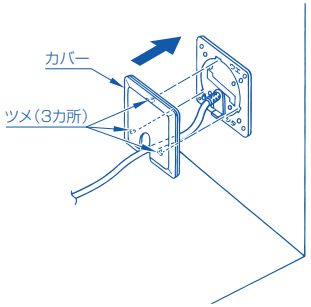
❾ シリコンシーラントを塗布し、ボックス本体をねじで固定する

①ボックス本体裏面にシリコンシーラントを塗布する
②ねじ固定用の下穴にシリコンシーラントを充てんする
③ボックス本体をねじで固定する
※「ウエ」表示が上側にあることを確認してください。
※VVFケーブル（電源ケーブル）はUB壁裏の下に入れ込むように収納してください。



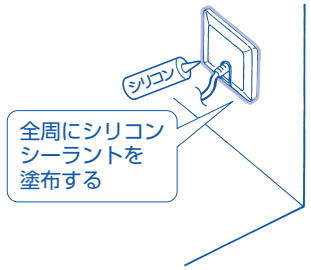
❿ カバーを取り付ける

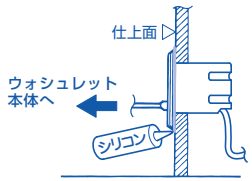
※カバーのツメ（3カ所）を、ボックス本体へ確実に固定してください。



⓫ カバーの全周にシリコンシーラントを塗布する

●シリコンシーラントを塗布するときは、仕上げ面を汚さないように、マスキングテープなどを利用してください。
●最後に、はみ出した不要なシリコンシーラントをきれいに拭き取ってください。



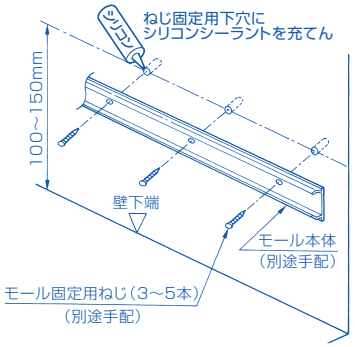


7 電源コードの処理 EQG/V 1624・1620 タイプのみ 新設現場・既設現場共通

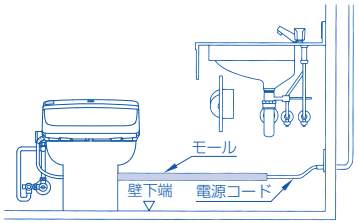
❶ モール本体をねじで固定する

①モール本体（別途手配）のふたをはずす
②モール本体を壁下端から100～150mmの高さにねじ（別途手配）で固定する

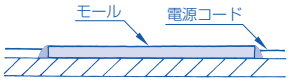
※タイル壁の場合は、ねじ固定用下穴にアンカープラグ（別途手配）を取り付けてください。
※固定用ねじの下穴にはシリコンシーラントを充てんしてください。



❷ 固定したモール本体に電源コード（VCTF）を通し、モールのふたを取り付ける



❸ モールの両端にシリコンシーラントを塗布する



8 連結管の接続 新設現場・既設現場共通

※連結管の接続は確実に行ってください。

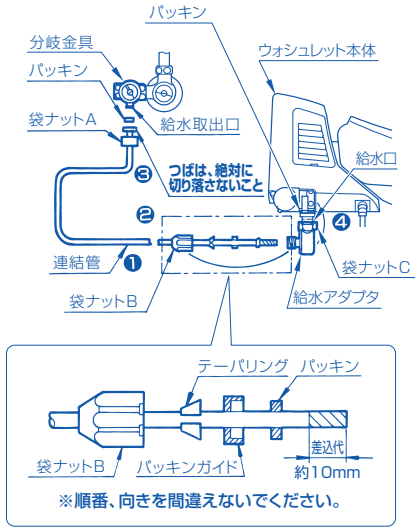
EQG/V 1624・1620 タイプ

❶ 連結管を分岐金具とウォシュレット本体の給水口にあわせて曲げた後、切る

※連結管の曲げは、あらかじめ針金などで確認し、それにそって曲げると簡単に取り付けられます。
※連結管はつぶれないように曲げてください。
※連結管のつばは切り落とさないでください。
※連結管の切断はパイプカッターを使用してください。
切断後は必ず水洗いを行い、切粉を取り除いてから接続してください。

❷ 給水アダプタと連結管を右図のように取り付ける

※テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順番、向きを間違えないでください。
※袋ナットBを手で強くねじ込んだ後、さらにスパナで1回転以上ねじ込んでください。（締付トルクは500N・cm～700N・cmが目安です。）



❸ 分岐金具の給水取出口に連結管のつば側を取り付ける

※分岐金具の給水取出口と連結管を袋ナットAで確実に締め付けてください。
● 図のように連結管のつば側を分岐金具に接続してください。

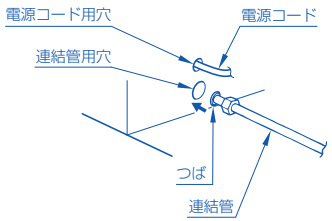
❹ ウォシュレット本体の給水口に給水アダプタを取り付ける

※ウォシュレット本体と給水アダプタの袋ナットCを確実に締め付けてください。

フルパネルタイプ・ハーフパネルタイプ

❶ 連結管をエプロンの穴に通す

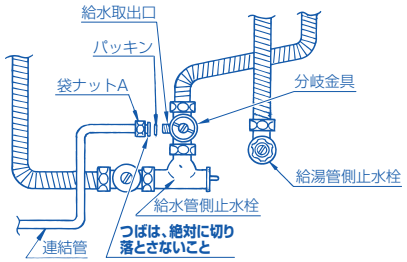
※連結管は、つば側がエプロンの裏側へくるように、通してください。
※連結管のつばは、絶対に切り落とさないでください。



❷ 連結管を分岐金具とウォシュレット本体の給水口にあわせて曲げた後、切る

❸ 給水アダプタと連結管を右図のように取り付ける

☞16ページ EQG/V 1624・1620タイプ ❶❷項参照

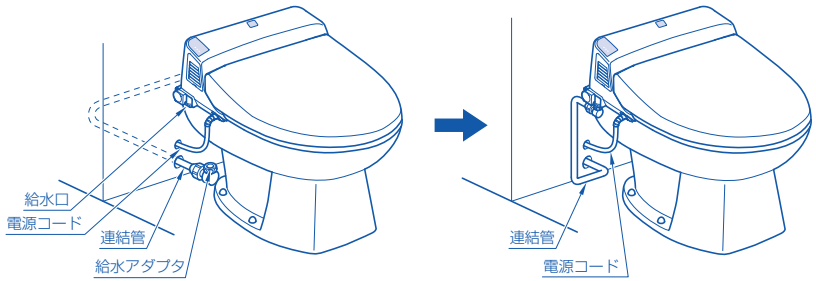


❹ 分岐金具の給水取出口に連結管のつば側を取り付ける

※分岐金具の給水取出口と連結管を袋ナットAで確実に締めつけてください。
● 右図のように連結管のつば側を、分岐金具に接続してください。

❺ ウォシュレット本体の給水口に給水アダプタを取り付ける

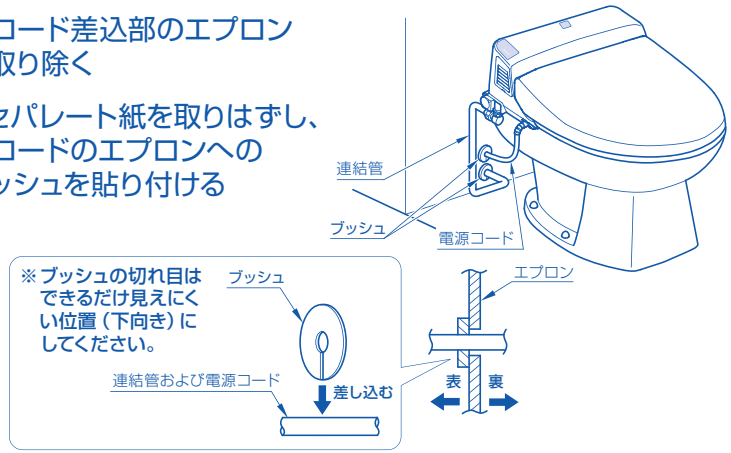
※ウォシュレット本体と給水アダプタの袋ナットCを確実に締め付けてください。



9 ブッシュの取り付け フルパネルタイプ ハーフパネルタイプのみ 新設現場・既設現場共通

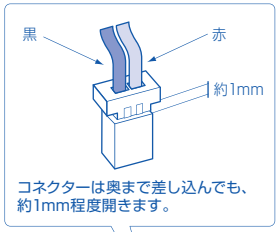
❶ 連結管と電源コード差込部のエプロン表面の汚れを取り除く

❷ ブッシュ裏のセパレート紙を取りはずし、連結管と電源コードのエプロンへの差込部分にブッシュを貼り付ける

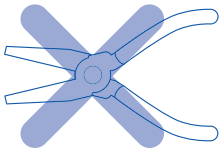


10 リモコンの取り付け 共通 新設現場・既設現場共通

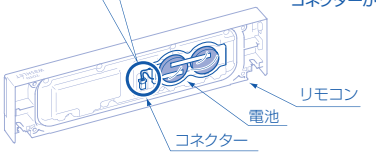
❶ ハーネスの向きを確認し、指でコネクターを差し込む



工具厳禁

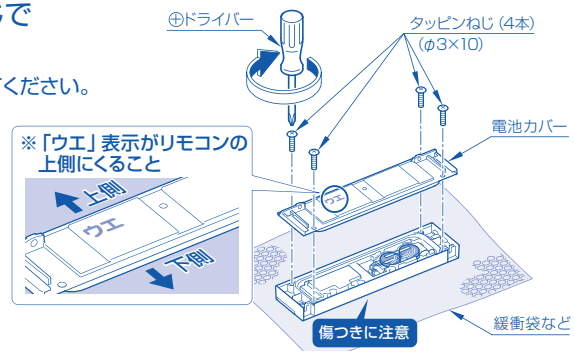


工具で差し込むとリモコン側のコネクターが破損する恐れがあります。



❷ 電池カバーを取り付けて、ねじで締め付ける

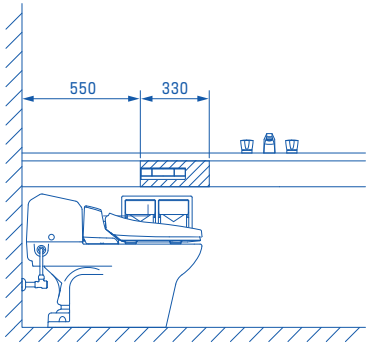
※作業する際は、緩衝袋などの上で行ってください。



❹ リモコンの取付位置を決める

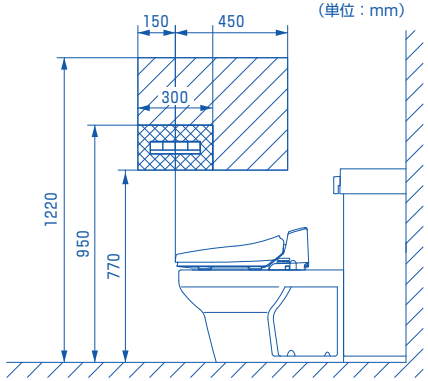
のところが取付位置の目安です。
のところが使いやすい位置の目安です。

便器の後ろにカウンターがない場合



※図は左壁を示しますが、右壁も同様です。

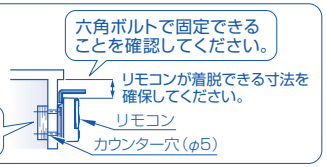
便器の後ろにカウンターがある場合



※図は右壁を示しますが、左壁も同様です。

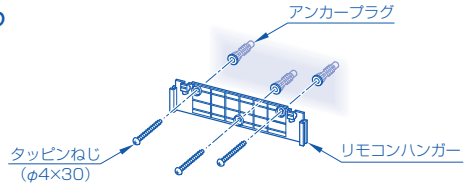
カウンターに取り付ける場合

カウンターに取り付けるときは割れたり欠けたりしないように注意する

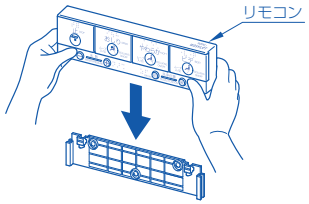


❺ リモコンハンガーをねじで取り付ける

- 壁にφ3の下穴をあけて取り付けてください。
- 石膏ボードやタイル壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。

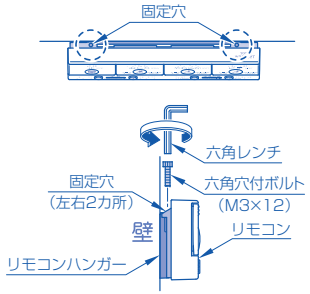


❻ リモコンをリモコンハンガーにセットする



❼ リモコンとリモコンハンガーを六角穴付ボルトで固定する

※六角レンチを使用してください。
※六角穴付ボルトが止まった後も、さらに締め付けると、リモコンハンガーなどが破損するおそれがあります。



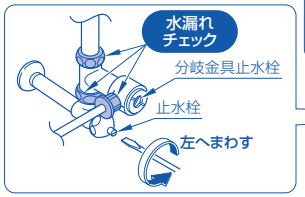
試運転

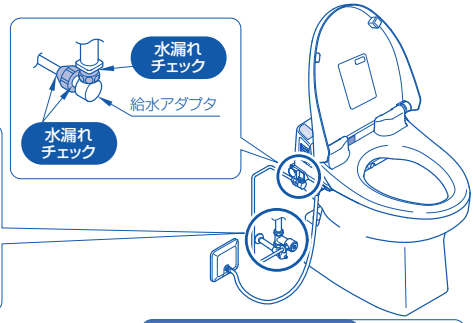
取付作業が完了したら次の手順で試運転を行ってください。

1 水漏れの点検

- 止水栓および分岐金具止水栓を開けて配管接続部から水漏れがないことを確認します。
- ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認します。

※ **万一、水漏れがあれば、再施工を行い水漏れを止めてください。**



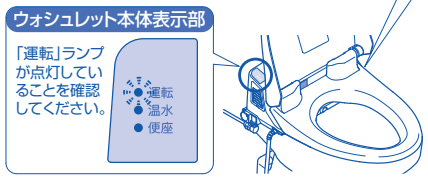


2 電源の通電

交流100V(50/60Hz)をウォシュレットに通電してください。

- ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。
- 試運転の前には必ず「運転入/切」スイッチが「入」になっていることを確認してください。
  (「入」のときは「運転」ランプが点灯します。)
  「運転入/切」スイッチが「切」のときは、通電してもウォシュレット本体は作動しません。

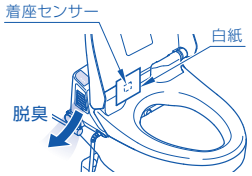
※ **ホテル側に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」スイッチを切らないでください。**



3 機能の確認

1 着座センサーを白紙でおおう

- 白紙でおおうと着座センサーが検知します。
  (便座を閉めないと着座センサーははたらきません。)
- 脱臭をはじめます。(TCF5010·TCF5011のみ)



2 脱臭機能を確認する(TCF5010·TCF5011のみ)

- ウォシュレット本体左側面の吹出口より風が出ていますか?

3 洗浄機能を確認する

おしり やわらか ビデ

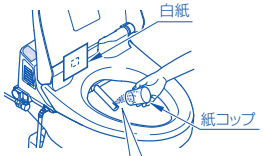
①リモコンの ・ ・ を押す ➡ ノズルから温水が出ますか?

(温水タンクが空のときは、吐水するまで約60秒、温水になるまで約15分かかります。)

②水勢 ⊖·⊕ を押す ➡ 水勢が変化しますか?

止

③ を押す ➡ 温水が止まりますか?



吐水は紙コップなどで受けてください。

リモコンが作動しないときは...

次の確認を行ってください。

- リモコンの電池が正しく取り付けられていますか?
  ➡ 電池を正しく取り付けてください。(☞18ページ 10 リモコンの取り付け 項参照)
- 電源が供給されていますか?
- 同梱以外のリモコンを取り付けていませんか?
  ウォシュレット本体とリモコンはID設定されているので同梱以外のものでは作動しません。
  ➡ IDの再設定を行ってください。(☞23ページ ID設定 項参照)

※ **ID設定は複数同時に行わないでください。他のウォシュレットとID設定される可能性があります。**

4 暖房便座機能を確認する

- 便座があたたまるまで約15分かかります。

5 着座センサーを白紙で30秒以上おおった後、白紙をはずす

6 オートパワー脱臭機能を確認する(TCF5010·TCF5011のみ)

- 脱臭音が大きくなりますか?
- 約60秒後に自動で止まりますか?

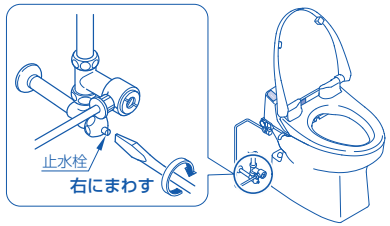
フィルターの掃除

試運転後は必ずフィルターを掃除してください。
(フィルターにゴミが詰まると、おしり、やわらか、ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。)

ウォシュレット

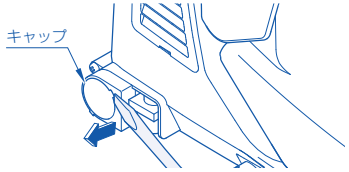
1 止水栓を閉めて給水を止める

①止水栓を⊖ドライバーで閉める
②レバーを操作してタンクの水を流す
(給水管内の圧抜きです。)



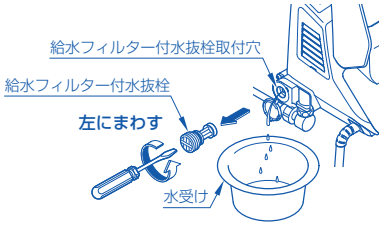
⚠注意 禁止 **止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない**
・水が噴き出します。

2 キャップを⊖ドライバーで開ける



3 給水フィルター付水抜栓をはずす

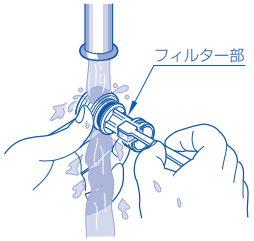
- 給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめた後、引っ張ってはずしてください。



4 掃除をする

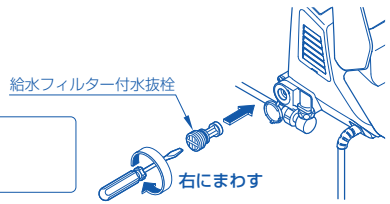
- フィルターの網目に詰まったゴミを水洗いして取り除いてください。

※小さなゴミは、歯ブラシなどを使って、確実に取り除いてください。
※給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも、綿棒などで取り除いてください。



❺ 給水フィルター付水抜栓を取り付ける

●給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締めてください。



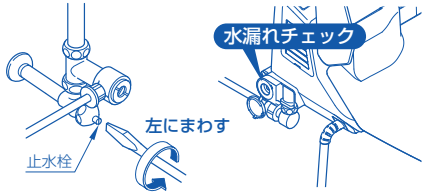
⚠注意

必ず守る

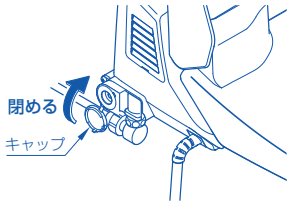
給水フィルター付水抜栓は確実に締める
・確実に締めないと水漏れの原因になります。

❻ 止水栓を開ける

●止水栓を⊖ドライバーで開けてください。
※給水フィルター付水抜栓部から水漏れしていないか、確認してください。



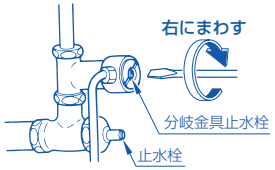
❼ キャップを閉める



止水栓

❶ 分岐金具止水栓と止水栓を閉めて給水を止める

●分岐金具止水栓と止水栓を⊖ドライバーで閉めてください。



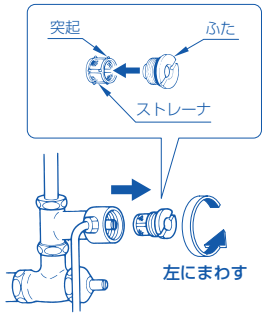
⚠注意

禁止

止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない
・水が噴き出します。

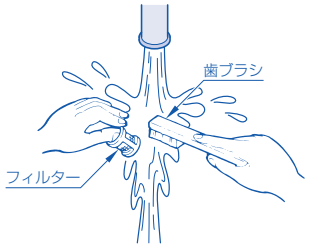
❷ フィルターを取り出す

●フィルターふたとフィルターをはずしてください。



❸ フィルターを取りはずし掃除をする

●フィルターの網目に詰まったゴミを水洗いして取り除いてください。
※小さいゴミは、歯ブラシなどを使って、確実に取り除いてください。



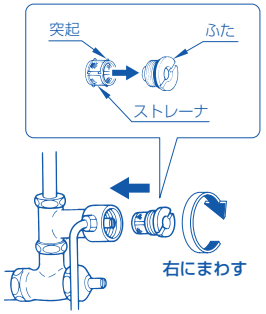
❹ フィルターを取り付ける

●フィルターの突起部をフィルターふたに差し込み取り付けてください。
●フィルターふたを確実に締めてください。

⚠注意

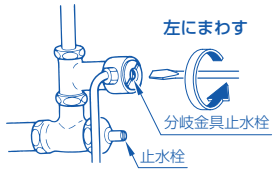
必ず守る

フィルターふたは確実に締める
・確実に締めないと水漏れの原因になります。



❺ 分岐金具止水栓と止水栓を開ける

●分岐金具止水栓と止水栓を⊖ドライバーで開けてください。
※止水栓から水漏れしていないか確認してください。



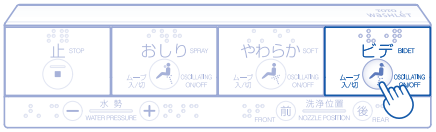
ID設定

試運転（☞20ページ）でリモコンが作動しなかった場合のみ行ってください。

❶ リモコンをID設定状態にする

●リモコンの ビデ を10秒以上押す

※設定状態は60秒間です。時間内に❷の操作を行ってください。

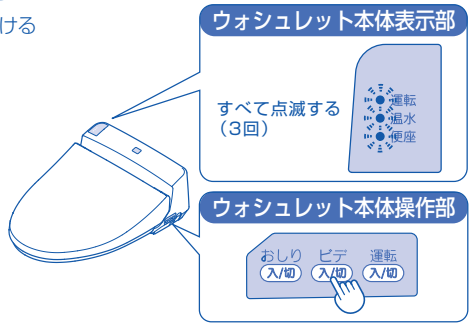


❷ ウォシュレット本体をID設定状態にする

●ウォシュレット本体操作部の ビデ 入/切 を10秒以上押し続ける
・リモコンとウォシュレット本体のIDが正常に設定されると「ピッ・ピピピッ」と電子音が鳴ります。
・ウォシュレット本体表示部のすべてのランプが3回点滅します。

設定が完了しました。

※ウォシュレット本体表示部のすべてのランプが3回点滅しない場合はもう一度最初からやり直してください。



❸ もう一度、機能の確認をする

☞20ページ ❸ **機能の確認** ❸ 項参照

試運転他